

400
障害

大地(徳島市立)大会新V2

男子は末木(鳴門渦潮)大会タイ

陸
上

△(鳴門ボリスエットスタジアム)

【男子】1000㊦①中井啓貴(城南) 11秒02②佐々木(徳島北) 11秒14③正野(小松島西) 11秒16④800㊦①杉本琉起(徳島科技) 2分2秒43②駒走(徳島北) 2分2秒56③井内(徳島北) 2分2秒65④400㊦障害①末木拓生(鳴門渦潮) 53秒81㊦大会タイ②明石(鳴門) 56秒08③遠藤(小松島) 57秒71④3000㊦障害①菊川尚悟(鳴門) 9分47秒92②瀬部(城ノ内) 9分49秒15③小笠(鳴門) 9分54秒53④走り高跳び①齋原泰輝(富岡東) 1㊦90㊦吉田(鳴門渦潮) 1㊦87㊦藤井(城西) 1㊦81㊦砲丸投げ①三田穂貴(生光学園) 16㊦25㊦仁子(生光学園) 14㊦27㊦小松(生光学園) 13㊦38㊦円盤投げ①三田穂貴(生光学園) 46㊦39㊦長瀬(生光学園) 40㊦15㊦仁子(生光学園) 38㊦92

【女子】1000㊦①岩田真弥(富岡東) 12秒68②武知(城南) 12秒79③吉田(鳴門渦潮) 12秒82④800㊦①濱内里紗(富岡東) 2分20秒49②小濱(鳴門) 2分20秒66③梶崎(徳島北) 2分21秒67④400㊦障害①大地彩央里(徳島市立) 1分1秒45㊦大会新②尾崎(富岡東) 1分6秒51③西村(城南) 1分6秒91

序盤から飛ばす 大地

400㊦障害で男女そろって好記録が誕生した。女子は大地(徳島市立)が大会記録を0秒63更新する1分1秒45で2連覇。男子は末木(鳴門渦潮)が大会タイ記録で初めて優勝した。

今季初めてこの種目に出場した大地は、序盤から快調に飛ばした。後半は疲れが出てハードル間の歩数が想定より2歩増えてしまったが、それでも後続を大きく引き離してゴールした。

昨年6月の四国選手権で県新記録をマークし、その後も約半年間で4回更新した得意種目。それだけに1分0秒92の県

記録更新を目標に臨み、「1分を切りたかった」と残念がった。

前日の400㊦に続く優勝で、4日の100㊦障害で3冠に挑む大地は「もっと走力を上げる」と食欲だった。



400㊦障害 女子決勝で大会新をマークし2連覇した大地